



災害発生に備えて

内閣府沖縄総合事務局は、沖縄地域の振興や安全・安心な生活を支える行政を総合的に担う行政機関の立場から、沖縄地域における防災・減災に向け、災害に強い地域づくりに寄与すべく、関係機関と連携しながら取り組んでいます。

沖縄総合事務局には、災害対策室がある他、災害箇所の調査を行う防災ヘリコプターなど、災害対応に必要な様々な資材・機材を保有しています。

今回は、当局における防災・減災に係る設備や、活動の様子について御紹介します。

●沖縄総合事務局災害対策室

沖縄総合事務局には、災害発生の際に、当局における災害対応の司令塔となる災害対策本部が設置される「災害対策室」があります。

「災害対策室」には、防災ヘリコプター等から送信される災害発生現場の映像や気象情報などを表示する大型表示設備、IPテレビ会議装置が設置されており、いつ起こるかわからない、災害発生に備えています。



大型モニターを使用した
防災訓練



沖縄総合事務局災害対策本部会議

●災害発生時に活躍する資材・機材

防災ヘリコプター



役割は? 災害発生初動時に災害危険箇所の調査を行います。

災害対策本部車



役割は? 現地対策本部として現場指揮、情報収集、対策検討等を行います。

情報収集車



役割は? 現場に急行し、被災状況等の情報収集を行います。

照明車



役割は? 夜間における現場の復旧作業、監視などの照明に使用します。

応急組立橋



役割は? 土砂崩れ等で橋梁が使用できなくなった場合に交通路の確保に使用します。

橋梁点検車



役割は? 橋梁等の構造物を点検し、安全を確認するために使用します。

排水ポンプ車



役割は? 冠水等が発生した際に、浸水等の被害を最小限に抑えるために使用します。

標識車



役割は? 工事や災害等による交通規制及び道路状況を一般ドライバーに提供します。

衛星通信車



役割は? 通信衛星を介して高度な通信回線の確保を行います。

Ku-SAT



役割は? 主に災害初期に通信衛星を介して通信の確保を行います。

活躍する
防災
ヘリコプター



災害発生現場の調査
に向かう
沖縄総合事務局職員



防災ヘリコプター
出動!!

●災害発生に備えよう！

災害発生時の電力、水道等生活に必要なライフライン機能の停止に備えて、生活に必要な最小限の必需品を予め用意しておきましょう。



防災備蓄食及び非常持ち出しセット

備蓄品の例

●非常食（レトルト食品、缶パン等）

●飲料水

●懐中電灯

●担架

●乾電池

●マスク

●テント

●ラジオ

●カセットコンロ

●簡易トイレ

●ビニールシート



また、地震の発生時には、家具が倒れたりする場合があるので、日頃から、生活空間の安全対策も考えておきましょう。

主な生活空間の安全対策

- 家具の固定などにより、転倒・落下を防ぎましょう。
- 家の中に、物の少ない安全空間を作りましょう。
- ガラスの散乱を防ぐため、飛散防止フィルムを貼るなど工夫しましょう。
- 履き慣れた靴などをいつでも使用できるように準備しておきましょう。

●沖縄総合事務局の取組

沖縄総合事務局では、平成24年3月5日～4月8日の間、東日本大震災の発生から1年を契機に、震災の記憶を風化させず、沖縄から東日本の復興を応援するためのプログラムを開催しました。

今年も、東日本大震災の発生から2年を迎える中で、震災の記憶を呼び覚まし、震災の教訓を忘れないようにするたのイベントを開催することで、被災地支援の取組の気運を高めるとともに、県民の防災意識の向上を図ることを目的に、平成25年3月～4月にかけて、パネル展示、講演会等の各種取組を実施することとしています。

〈取組の概要〉

(1) 実施期間：平成25年3月～4月

(2) 実施プログラム

- I 東日本大震災を風化させない取組
- II 東日本の復興の動きの紹介
(各種パネル展)
- III 防災関連講演会等

※イベントの詳細については、内容が決まり次第随時お知らせする予定です。

平成24年に実施した主な取組



「東日本大震災から1年を振り返る」メモリアル展
(那覇第二地方合同庁舎2号館1階 行政情報プラザ)



小学生を対象にした防災学習会
(那覇第二地方合同庁舎2号館2階 災害対策室)

沖縄総合事務局における防災に関する情報はこちらから ⇨

【沖縄総合事務局 HP】 <http://www.ogb.go.jp/soumu/8871/index.html>